

科目名	発達心理学特論Ⅰ			ナンバリング	858082	授業形態	0
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	名取洋典	担当教員					

授業の概要	心理的な援助、教育の実践者にとって、人間の発達に関する基本的な知識は不可欠なものである。本講では、特に子どもの発達に関する心理学的知見を学ぶことで、発達はもちろん、発達障害についての基礎知識を身につけることを目標とする。なお、授業は文献講読を中心として進める。						
到達目標	1 子どもの発達について説明できる。 2 発達上の困難さを抱える子どもの援助の方法について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	関連する文献について各自授業外で読んでおくといでしょう。						
ディプロマポリシーとの 関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
	○	1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
		2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
	○	3. 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
	○	4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
		5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1 子どもの発達について概要を説明できる。 2 発達上の困難さを抱える子どもの援助の方法について概要説明できる。	1 子どもの発達について具体的で詳細かつ適切に説明できる。 2 発達上の困難さを抱える子どもの援助の方法について具体的で詳細かつ適切に説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
討論への参加状況	○	○	○	○	○		50%
平常レポート	○	○	○	○	○		50%

課題、評価のフィードバック	1 授業内の討論内でコメントする。 2 コメントをもとに、更なる、討論を促す。 3 受講者相互のコメントも求める。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	オリエンテーション	人間の発達の基本を学ぶことの意義を説明する。	
	第2回	発達における遺伝と環境①	遺伝と環境の問題について基本的な考え方を説明する。	
	第3回	発達における遺伝と環境②	人間の初期環境と発達との関連について説明する。	
	第4回	認知と言語の発達①	乳児の認識能力について説明する。	
	第5回	認知と言語の発達②	子どもの認知発達について大まかな流れを説明する。	
	第6回	認知と言語の発達③	子どもの言語発達について大まかな流れを説明する。	
	第7回	パーソナリティの発達	子どものパーソナリティの発達について説明する。	
	第8回	社会性の発達	子どもの社会性の発達について説明する。	
	第9回	発達と問題行動①	発達の個人差と問題行動について説明する。	
	第10回	発達と問題行動②	子どもの問題行動に対する姿勢について議論する。	
	第11回	発達と問題行動③	子どもの問題行動に対する支援についての基本的な考え方を説明する。	
	第12回	軽度発達障害①	軽度発達障害の定義と概念について説明する。	
	第13回	軽度発達障害②	知的境界領域、高機能発達障害について概要を説明する。	
	第14回	軽度発達障害③	気がかりな子どもに対する姿勢や支援について考え議論する。	
	第15回	まとめ	子どもの発達の道筋、子どもの問題行動や軽度発達障害についてまとめを行う。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		文献についての紹介を行いながら、授業内討論を行います。積極的な発言が求められます。		
授業外学習の指示		発表の担当者は、事前に文献を読んでレジュメを作成し、講義前に印刷を終えておくこと(90分)。 知識の定着が図られるよう、毎回必ず復習をしてから講義に臨むこと(90分)。 （授業外学習時間： 毎週 — 分）		

教科書	指定しない。
参考書	講義時に論文、図書、関連する資料等を紹介する。
参考URLなど	
その他	